

## 体力と挑戦の心育む

たかおか ボルダリングボードを設置  
こども園



ボルダリングを楽しむ園児たち

富士市厚原のたかおかこども園(渡邊宏行理事長)はこのほど、子供用のボルダリングボードを設置した。幅4・5尺、高さ2・

6尺の垂直の物で、手を掛けたり足を乗せたりするホールドは子供用に小さなサイズで作られている。足元にはウレタンマットを敷いて着地時の衝撃や落下

から守られるよう、安全面にも配慮している。

保育時間中であれば園児がやりたいタイミングで利用できるようにしており、2歳児から年長児までがボルダリングを楽しんでいる。同園では、体幹の強化やバランス感覚の育成が期待されるスポーツとして注目を集めるボルダリングを、園児の体力づくりに反映するため、以前から設置を検討。創立50周年記念事業として、昨年12月に設置された。

渡邊理事長は「現代の子供たちは、さまざまな種類の運動をする機会が少なく、登る・つかむといった運動は遊具が中心。最上部までのホールドの数や形を変えることで難易度も変えられるので、体力づくりや健康増進につなげたい」と期待した。

その上で「ボルダリングを通じて、子供たちには自分の限界を試す気持ちや頑張る気持ちなど、挑戦する大切さを身に付けてほしい」と思いを語った。